

令和6年度 第1回苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：令和6年8月20日（火） 15：00～16：00

会 場：苫小牧美術博物館 1階研修室

○出席委員 蓑島会長、明村副会長、大西委員、菊地委員、佐藤委員、中村委員
山岸委員 林崎委員
8名出席 （欠席2名：工藤委員、野村委員）

○教育委員会（事務局） 生涯学習課 河本課長、斉藤課長補佐
南部谷主査 濱田主任主事
美術博物館 藤原館長、岩波学芸員、佐藤学芸員

1 開 会

2 会長挨拶 苫小牧市文化財保護審議会 会長 蓑島 栄紀

3 事務局担当について

4 文化財保護審議会委員の役割、進め方について

5 報 告

（1）明治天皇行幸跡石碑（矢代）の柵の改修について
⇒勝幸辰建設株式会社による石碑柵の無償改修について報告

（2）明治天皇行幸跡石碑（柳町）の移転について

（3）『とまこまいの文化財』の改訂版の完成について

6 議 事

(1) 指定文化財候補についての説明

【事務局説明】

前回の審議会にて、苫小牧市の指定文化財候補について、確認してきましたが、候補の数も多く、この中から、選定しにくい状況が予想されますことから、美術博物館の学芸員よりさらに候補を厳選して説明してもらうことを提案します。

⇒委員会で承認される。

【学芸員からの説明】

候補文化財：植苗貝塚（とまこまいの文化財 冊子 P32～P33）

- ・当時温暖だったころの貝が多く出土している。
- ・スズキなどの回遊魚の骨が多い。鮭は少ない。
- ・近くの千歳市にある美々貝塚は、千歳市の指定史跡となっている。
- ・当時の環境や生活の様子が知ることができる貴重な遺跡である。

候補文化財：弁天貝塚（別紙資料あり）

- ・アイヌ文化期（江戸時代末期～明治時代初期）の貝塚で、道内にも少なく、貝塚としても珍しい。
- ・和人からの移入品 7 千点以上、大量の動物の骨（鹿、犬、豚）が出土している。
- ・南北戦争時のアメリカ陸軍士官用の金ボタンが出土している。
- ・当時は海岸の波打ち際にあったが、海岸が浸食されて、現在は海中となっている。
- ・苫小牧市だけでなく、北海道としても貴重な史跡であると思われる。

【学芸員からの説明】

候補文化財：勇払先駆者墓碑及び勇払地蔵尊（とまこまいの文化財 冊子 P36）

- ・墓碑については、すでに指定されているが地蔵尊はされていない。
- ・江戸の末期に鈴木歳郎（勇払場所の最高位）にて建立される。背後に名前が刻まれている。
- ・地蔵尊は本州から来たものであり、生活の歴史を表す貴重なものである。
- ・同じ史跡公園にある蝦夷地開拓移住隊士の墓の中には建立した鈴木歳郎の父、母の墓碑もあり、隊士の墓については 1956 年に市の文化財指定となっている。
- ・昭和 47 年に史跡公園として整備され、説明用のプレートもあり、現存していて整備もされていることから、さらに価値を上げている。
- ・地蔵尊が服をきていることもあり、文化財指定となれば、さらに調査する必要がある。
- ・本来あった場所からは、移設されている。

《委員からの意見》

(委員)

・勇払地蔵尊について、赤い布をまとっているが、色が落ちたりして3回くらい衣装を変えている。市指定となった場合には着ているものなどを、変えることができなくなるのか。現存のままということになるのか。恵比須神社（市指定文化財）の社についてもそのままにと言われている。それについてもきれいにしたいと思う。防腐剤処理(糠など)をしてもよいものなのか。

【学芸員】

地域の信仰として大切にされているので、今の状態を維持してということではない。勇払不動（市指定文化財）もそうであるが、色々な人たちに信仰され大切にされている。基本的には指定になったからといって、今の信仰している姿を変える必要はない。

恵比須神舎の社については維持とほっておくのとでは意味が違う。水の使用はできるが、薬品等は使用しないほうがよい。ケアすることはよい。

(委員)

衣装を変更できないということではないと、判断いたします。

弁天の社について、祭りのときにほこり取りをしている。恵比須神社の社と一緒に、一度（状況を）、学芸員に見てもらい、指導いただきたい。

(会長)

現状の文化財についてもお話をいただきました。今後、検討いただきたいと思います。

(委員)

勇払地蔵尊について、もとあった場所から移転したとのことですが、明治天皇行幸跡の石碑も移転するとの話でしたが、そこに石碑があるということは、その場所に意味があると思う。元の場所を記載するなどの対応が必要ではないか。

(会長)

移転したとの話（地蔵尊）がありましたが、もとの場所がわかるようになっていますか。

【学芸員】

元の場所にも石碑があり、わかるようにはなっています。移転については私もそのように思います。色々な理由、政策的なこともあって仕方ないとは思いますが、痕跡がわかるようにしないといけないと思います。

【事務局】

委員のおっしゃるとおりだと思います。正直、古いものだとしっかりしたものが残っていない場合もあります。せめて、移転したことがわかるよう、冊子に掲載するなど、何らかの対策が必

要と考えます。

(委員)

勇払の地蔵尊について、勇払中に赴任後に、校長会の代表になり、委員会に出席しているが、1年生が史跡調査をしている。昨年より今年、2度目となり価値があるものであると直接見て改めて思っている。大事にしていきたいと思う。地蔵尊だけ（市指定文化財に）なっていないのも知らなかった。なってもよいのではと思った。

(委員)

弁天貝塚について、アメリカ軍の金ボタンがでてきたとのことだが、それによりアメリカ軍人とアイヌの交流があったというストーリーができるものなのか。そういったことがあると文化財に指定して、驚きの歴史があると良いと思った。

【学芸員】

金ボタンの流通経路についてはわかっていない。函館経由で入ってきたのではと思われる。タマサイという女性用のガラス玉などの装飾品をつける風習もあり、玉材に金ボタンが使用されたものが函館にはある。アイヌの人が直接入手したとの記録がなく、このようなストーリーがあるとは出すことができない。古い例から、なぜ入手できたのかというストーリーを描く素材にはなると思う。遺跡から金ボタンが出た例は弁天貝塚しかない。唯一無二ともいえる。

(会長)

最近、関根達人氏の一般向けの本でも紹介されて注目を集めているものでもあります。

(委員)

当時、アメリカのボタンの製造会社も調べたと聞いた。そのあと、製造会社との情報交換はしていないのか。

【学芸員】

スコビル社製であり、年代についても特定できているが、会社とのやりとりは不明です。

【学芸員】

弁天貝塚の報告書のなかでも金ボタンについて記載されているが、会社については閉まっていて、軍事博物館を経由して調べたようだ。現地の金ボタンと一致していたことから、アメリカで作られていたことは間違いない。

(会長)

3つの文化財どれも、指定に値する文化財であると思います。前回指定したタココ遺跡出土品は年代として古いものでしたので、次は新しいものでも良いかなとも思います。そうになると植苗貝塚はどうかとも思いましたが、これまで古いものがあまりないので、気にする必要はないのかとも思います。次回の審議会にて、推薦候補を決定する方向で進めたいと考えます。

(委員)

この中から、1つということでしょうか。

【事務局】

想定としては1つと考えていますが、何かで1つと決まっているわけではありません。

(会長)

現段階では、3つの中から1つに絞りたいという方向ではいます。

7 そ の 他

8 閉 会